

あ ら や 衆 報

NO.111 平成20年 8月1日

- 23 新屋振興会定期総会
- 456 新屋地区子供見守り隊
- 7 行事トピックス・表彰
- 8 郷土の先人 森川源三郎翁
- 9 比内町三十周年にあたって

発行・新屋振興会 会長高橋昌一
編集・新屋振興会広報部
印刷・株式会社J A プリントあきた

溢れる若者たちの熱気



日吉山王祭の神輿かつぎ



新屋振興会会長
高橋 昌一

新屋の自然と伝統を守り続けよう

まもなく第二十一回秋田市夏まつり雄物川放水大会(今年のメインテーマは雄物川放水路通水七十周年)を迎えます。去る五月二十三日に、この放水大会を主催する「秋田市夏まつり雄物川放水大会実行委員会」が「地域の活性化に貢献した功績を認められ、社団法人日本河川協会から表彰されました。この事業の推進にご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝の意を捧げますとともに、喜びを分かち合いたいと存じます。

さて、本年四月十一日に行われました平成二十年年度の新屋振興会の総会で承認可決されました事業計画につきましては、その実現実行すべく鋭意取り組んで参ります。町民の皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

昨年十月に平成十九年度日新小学校学習発表会を参観しました。六年生の発表課題は「未来へ伝えよう 新屋の自然 新屋の伝統」でした。栗田定之丞が登場し「君たちは気付いたと思うが、今や、砂防林は松くい虫の被害にあつて大変なのじゃ。このままでは、砂止め機能も失ってしまうかもしれない。心配で現代まで様子を来たのだから、私にはどうすることもできません。」と始まり、松くい虫と松枯れについて判り易く説明をし、枯れた松を伐採し、そこに新しい苗木を植えて、季節風や砂から新屋の町を守るシナリオでラストシーン。栗田定之丞が再び登場して「みなさんありがとう。後のことは任せました。新屋の町をたのみます。」と姿を消しました。

日新小学校の児童が松枯れの被害を食い止め松林をよみがえらせ、緑を守り続けようという大きな願いをこめて訴えた演劇は、私だけでなく、参観のご父兄の皆さんにも大きな感動をあたえた一コマでした。

「あらや衆報」一―一号がお手もとに届くころには、振興会の第八回目的松林再生委員会も終え、いよいよ具体的な対応に着手することになります。

子供も大人も、老若男女を問わず「新屋の自然 新屋の伝統」を守り続けることに努めようではありませんか。

平成二十年度新屋振興会

定期総会開催

平成二十年度の定期総会が、四月十一日（金）秋田市新屋支所二階会議室で、午後六時三十分より開催されました。

町内会長・評議員・振興会理事・会計監事・顧問・相談役を含め四十五名の出席があり、最初に高橋振興会会長より、昨年取り組みだ事業が、皆様のご協力で一定の成果を果した。今年も町民と一体となって新屋町の活性化に向けて頑張っていきたいと挨拶があり、引き続き議題にはいりました。

議長には北新町町内会長の川田さんが選出され、十九年度の事業実施報告・一般会計等が事務局より報告があり質疑に入りましたが、特に意見もなく一括承認され、二十年度事業実施計画・一般会計・特別資金会計（案）が提案され、これも満場一致で承認されました。

◎その他議案

① 三角屋敷景観保存のための委員会設置について

☆この案件については、新屋表町通り活性化推進委員会より協力（募金活動）を要請されたもので、表町通りに立地している大正後期に建てられた三角屋敷（旧菅原スポーツ店）を、新屋のシンボルとして活用しようとのこと。意見・質問等が出されましたが、委員会設置が全員の賛成で承認されました。

◎振興会が取り組んだ要望とその回答

① 中央交通への要望

※バス線路（日赤経由）の運行経路を、シルバーエリアからイオン前を経由して運行して貰いたいとの要望です。
☆正式な回答が出されておりましたが、利用客が少ないため無理だろうとの見方です。

② 秋田市への要望

※新屋交番の新屋支所跡地への新築移転と、新屋支所跡地の一部を利用して、新屋支所前交差点の改良について
☆回答として、新屋支所跡地については、本市の財政事情も厳しいことから、基本的には売却する方針ですが、センターの駐車場としての活用も視野に入れ、総合的に検討を進めてきたところです。仮に同跡地に新屋交番が移転するとすれば、西部地域の防犯体制の確立に大きく寄与できると思われますので、今後の県の動向を注視してまいります。また、交差点改良については、検討してまいります。以上の提案と報告が出され定期総会が無事終了いたしました。



平成20年度各部事業計画

担当部局	日程	事業内容
事務局	20年4月2日 20年4月11日 20年5月7月9月11月 20年6月21年3月 20年6月8月21年2月	・平成19年度会計監査 ・平成20年度総会 ・三役・部長会議（年4回） ・理事会（年2回） ・町内会長・理事連絡協議会（年3回）
総務部	21年1月10日17時	・新屋町新年会開催（アトリエももさだ） ・ゴミゼロフォーラム *過去5回啓蒙活動として開催しているが、今後どうすべきか部会で検討する
企画開発部		1 新屋振興会事業運営の積極的取組みと協力 2 要望事項（事務局と調整を図って）の取りまとめ ① 各町内会・各種団体に対する要望依頼 ・4月11日開催の総会以降、できるだけ早く具体的日程の提起 ② 要望事項に対する内容の集約・吟味、学習会開催、現地調査 ・全部員の参加で要望内容の把握を適切に行う（集約後は適宜に部会を開催する） ・要望内容の検討、要望先の検討 ・地域選出の議員（県議・市議）・顧問等との懇談と要望等検討 ・新規要望事項と継続事項の調整 ・要望事項の提出（陳情、場合によっては請願含） ・その他 3 定期的情報交換 ・年度内4回～5回位、部としての情報交換する 4 他団体より協力要請のある事業の積極的参加及び支援等 5 その他
安全対策部	20年9月1日 〃 20年11月2日 20年11月下旬 通年 通年	・第8回新屋地区自主防災協議会総会開催 ・第8回新屋地区自主防災講演会開催 ・第8回新屋地区自主防災訓練の実施 ・平成20年度防排雪問題懇談会開催 ・地域安全パトロール（子供見守り等）への参加 ・住宅用火災警報器の周知と設置促進
広報部	20年8月1日 21年1月1日	・あらや衆報111号の発行 予定特集：子供見守り隊の活動について ・あらや衆報112号の発行 予定特集：西部地域市民サービスセンターの内容について *年間を通じて各町内の色々な出来事原稿募集（原則として800字以内と写真）
日新小学校教育環境整備推進協議会		・日新小学校教育環境整備推進協議会 情報を得ながら適時開催
新屋松林再生委員会		1 事業の具体的行動は、昨年9月15日発足した再生委員会の趣旨に基づきその都度委員会を開催し、地域の住民の方々、関係機関（秋田県・秋田市）、協力団体（経済同友会等）との協力・連携、土地所有者の理解と協力を密にして海岸林等の再生への気運を盛り上げていく。 2 必要に応じて学習・懇談会を開催し、被害木、枯れ松の対策、被害の食い止め（薬液散布等）、伐採後の植栽等、検討しながら取り組んでいく。 3 先進的地域の対策事業を参考としながら交流をすすめる。 4 関係機関、関係団体、支援団体などより要請のある諸行事への積極参加 5 その他

平成20年度新屋振興会収支予算

収入総額 1,739,000円 支出総額 1,739,000円 差引総額 0円

(収入内訳)

(单位: 元)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増△減	備 考
1 会 費	929,200	929,000	200	
2 繰 越 金	408,477	392,303	16,174	
3 繰 入 金	0	200,000	△ 200,000	
4 協 賛 金	400,000	400,000	0	あらや衆報広告料収入
5 寄 付 金	500	400	100	
6 雑 収 入	823	2,897	526	預金利息
合 計	1,739,000	1,922,000	△ 183,000	

(支出内訳)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増△減	備 考
1 会 議 費	260,000	260,000	0	
総 会	140,000	140,000	0	
理 事 会	120,000	120,000	0	理事会、三役部長会、町内会長理事連絡協議会
2 事 務 費	140,000	140,000	0	
消 耗 品	70,000	70,000	0	事務用品、印刷、コピー代
通 信 費	70,000	70,000	0	切手、ハガキ代等
3 部会活動費	50,000	80,000	△ 30,000	各部活動経費
4 陳 情 費	50,000	50,000	0	陳情等経費
5 広 報 費	780,000	870,000	△ 90,000	
印 刷 費	650,000	650,000	0	あらや衆報印刷代
編 集 諸 費	60,000	150,000	△ 90,000	
謝 礼	70,000	70,000	0	原稿謝礼、衆報配付お礼
6 安全対策費	40,000	40,000	0	自主防災組織間連経費
7 環境対策費	20,000	20,000	0	環境対策経費
8 委員会等運営費	80,000	0	80,000	松林再生委員会、日新小学校教育環境整備推進協議会等
9 罹災見舞金	1,000	1,000	0	
10 負 担 金	110,000	110,000	0	観桜会、新屋体協、スクールコンサート、西部振興会、安全の会
11 補 助 金	20,000	20,000	0	町内会長研修会
12 繰 出 金	40,000	40,000	0	新年会会計への拠出金
13 諸支出金	140,000	160,000	△ 20,000	
渉 外 費	70,000	100,000	△ 30,000	
雑 費	70,000	60,000	10,000	
14 予 備 費	8,000	131,000	△ 123,000	
合 計	1,739,000	1,922,000	△ 183,000	

平成19年度新屋振興会収支決算

収入総額 1,958,820円 支出総額 1,550,343円 差引総額 408,477円

(収入内訳)

(単位：円)

項 目	19年度予算額	収 入 済 額	比較増△減	備 考
1 会 費	929,000	927,600	△ 1,400	
2 繰 越 金	392,303	392,303	0	
3 繰 入 金	200,000	200,000	0	特別資金会計から繰入
4 協 賛 金	400,000	436,000	36,000	あらや衆報広告料収入
5 寄 付 金	400	1,620	1,220	花火実行委員会、新年会会計
6 雑 収 入	297	1,297	1,000	預金利息
合 計	1,922,000	1,958,820	36,820	

(支出内訳)

項 目	19年度予算額	支 出 済 額	比較増△減	備 考
1 会 議 費	260,000	253,480	△ 6,520	
総 会	140,000	113,340	△ 26,660	
理 事 会	120,000	140,140	20,140	理事会、三役部長会、町内会長理事連絡協議会
2 事 務 費	140,000	131,163	△ 8,837	
消 耗 品	70,000	65,318	△ 4,682	事務用品、印刷コピー代
通 信 費	70,000	65,845	△ 4,155	切手、ハガキ代等
3 部会活動費	80,000	12,186	△ 67,814	各部活動経費
4 陳 情 費	50,000	44,930	△ 5,070	陳情等経費
5 広 報 費	870,000	708,990	△ 161,010	
印 刷 費	650,000	616,560	△ 33,440	あらや衆報印刷代
編 集 諸 費	150,000	37,430	△ 112,570	
謝 礼	70,000	55,000	△ 15,000	原稿謝礼、衆報配付お礼
6 安全対策費	40,000	19,142	△ 20,858	自主防災組織間連経費等
7 環境対策費	20,000	0	△ 20,000	
8 罹災見舞金	1,000	0	△ 1,000	
9 負 担 金	110,000	117,000	7,000	さくら公園観桜会、新屋体協、フケールコンサート、安全の会等
10 補 助 金	20,000	20,000	0	町内会長研修会
11 繰 出 金	40,000	0	△ 40,000	
12 諸支出金	160,000	123,266	△ 36,734	
渉 外 費	100,000	63,000	△ 37,000	
雑 費	60,000	60,266	266	
13 予 備 費	131,000	120,186	△ 10,814	新屋松林再生委員会、日新小学校環境整備推進協議会等
合 計	1,922,000	1,550,343	△ 371,657	

新 屋 振 興 会 役 員 名 簿

(平成20年5月15日)

町 内 名			町内会長評議員	電 話	評 議 員	電 話	役 員		
1	上 表 町	坂 本 隆 二 表町11-55	828- 4 8 7 6				会 副 長 高 橋 昌 一 藤 澤 浩 高 野 ト	2 1 5 7 4 0 0 1 3 6 1 7	新町後281-3 元町14-29 日吉町1-9
2	中 表 町	小 玉 隆太郎 扇町91-18	6 4 4 8						
3	比 内 町	佐々木 勇 吉 比内町5-3	3 1 9 5	谷 藤 進 比内町2-63	828- 4 5 4 7		総 務 部 長 小 松 勉 熊 地 ケ 富 野 昭 大 塚 正 石 塚 エミ 富 井 仁 齊 藤 英 佐 藤 政 海 風 金 渡 邊 敏 赤 沼 悦 藤 原 久 中 津 川 正 佐 々 木 勇 菊 地 幸 沢 田 一 藤 田 弘 高 橋 強 石 橋 寛 森 本 千 横 山 讀 鈴 木 幸 渡 邊 子 横 山 靖 鈴 木 秀 ケイ子	3 2 2 8 4 0 8 2 4 1 1 8 2 0 7 8 2 4 3 4 5 4 5 7 4 3 6 9 6 8 7 9 7 3 1 5 6 6 5 8 4 7 5 4 5 1 0 2 4 2 3 5 3 1 9 5 5 4 0 7 3 8 6 8 6 4 4 9 5 7 9 4 3 0 3 3 2 2 7 6 4 7 3 5 8 6 8 6 2 3 6 3 3 6 7 0 3 3 7 2	元町6-37 比内町10-35 表町6-15 元町4-3 比内町48市住98 大川町23-19 表町11-27 田尻沢中町6-16 元町16-2 日吉町40-22 元町4-15 扇町2-9 扇町83-27 比内町5-3 元町23-14-5 栗田町5-14 扇町91-22 栗田町17-33 日吉町10-67 比内町20-48 高美町1-21 田尻沢西町6-16 元町3-13 元町2-17 田尻沢東町3-62
4	愛 宕 町	小 野 良 治 日吉町3-13	2 5 9 6						
5	市 営 住 宅	石 井 紀 夫 比内町48市住98	2 4 3 4						
6	関 町	佐 藤 吉 茂 関町後190-18	7 3 2 3				企 画 開 発 部 長 中 津 川 正 佐 々 木 勇 菊 地 幸 沢 田 一 藤 田 弘 高 橋 強 石 橋 寛 森 本 千 横 山 讀 鈴 木 幸 渡 邊 子 横 山 靖 鈴 木 秀 ケイ子	2 0 7 8 2 4 3 4 5 4 5 7 4 3 6 9 6 8 7 9 7 3 1 5 6 6 5 8 4 7 5 4 5 1 0 2 4 2 3 5 3 1 9 5 5 4 0 7 3 8 6 8 6 4 4 9 5 7 9 4 3 0 3 3 2 2 7 6 4 7 3 5 8 6 8 6 2 3 6 3 3 6 7 0 3 3 7 2	比内町48市住98 大川町23-19 表町11-27 田尻沢中町6-16 元町16-2 日吉町40-22 元町4-15 扇町2-9 扇町83-27 比内町5-3 元町23-14-5 栗田町5-14 扇町91-22 栗田町17-33 日吉町10-67 比内町20-48 高美町1-21 田尻沢西町6-16 元町3-13 元町2-17 田尻沢東町3-62
7	関 町 後	中 山 清 造 関町後203-30	0 8 2 5						
8	町 営 住 宅	富 永 清 栗田町21-4-102	8 0 6 1						
9	北 新 町	川 田 直 政 新町後278-32	6 9 7 9				安 全 対 策 部 長 中 津 川 正 佐 々 木 勇 菊 地 幸 沢 田 一 藤 田 弘 高 橋 強 石 橋 寛 森 本 千 横 山 讀 鈴 木 幸 渡 邊 子 横 山 靖 鈴 木 秀 ケイ子	5 1 0 2 4 2 3 5 3 1 9 5 5 4 0 7 3 8 6 8 6 4 4 9 5 7 9 4 3 0 3 3 2 2 7 6 4 7 3 5 8 6 8 6 2 3 6 3 3 6 7 0 3 3 7 2	扇町2-9 扇町83-27 比内町5-3 元町23-14-5 栗田町5-14 扇町91-22 栗田町17-33 日吉町10-67 比内町20-48 高美町1-21 田尻沢西町6-16 元町3-13 元町2-17 田尻沢東町3-62
10	南 新 町	南 波 郁 夫 元町14-26	4 0 2 5						
11	緑 町	小 島 初 男 栗田町1-25	2 0 0 9						
12	笹 町	渡 辺 憲 一 元町4-9	833- 6 7 6 5				広 報 部 長 中 津 川 正 佐 々 木 勇 菊 地 幸 沢 田 一 藤 田 弘 高 橋 強 石 橋 寛 森 本 千 横 山 讀 鈴 木 幸 渡 邊 子 横 山 靖 鈴 木 秀 ケイ子	6 7 6 5 5 4 0 7 3 8 6 8 6 4 4 9 5 7 9 4 3 0 3 3 2 2 7 6 4 7 3 5 8 6 8 6 2 3 6 3 3 6 7 0 3 3 7 2	栗田町1-25 栗田町5-14 扇町91-22 栗田町17-33 日吉町10-67 比内町20-48 高美町1-21 田尻沢西町6-16 元町3-13 元町2-17 田尻沢東町3-62
13	大 川 町	伊 藤 富 美雄 大川町11-21	828- 3 9 5 1				編 集 主 幹 中 津 川 正 佐 々 木 勇 菊 地 幸 沢 田 一 藤 田 弘 高 橋 強 石 橋 寛 森 本 千 横 山 讀 鈴 木 幸 渡 邊 子 横 山 靖 鈴 木 秀 ケイ子	3 9 5 1 5 4 0 7 3 8 6 8 6 4 4 9 5 7 9 4 3 0 3 3 2 2 7 6 4 7 3 5 8 6 8 6 2 3 6 3 3 6 7 0 3 3 7 2	大川町11-21 大川町23-19 表町11-27 田尻沢中町6-16 元町16-2 日吉町40-22 元町4-15 扇町2-9 扇町83-27 比内町5-3 元町23-14-5 栗田町5-14 扇町91-22 栗田町17-33 日吉町10-67 比内町20-48 高美町1-21 田尻沢西町6-16 元町3-13 元町2-17 田尻沢東町3-62
14	十 條 団 地	富 田 漣 大川町31-18	7 6 3 8						
15	沖 田 町	加 藤 勝 夫 前野町1-20	1 3 1 6						
16	南 団 地	寺 田 彰 一 田尻沢中町12-7	7 5 6 7				事 務 局 長 (会 計) 中 津 川 正 佐 々 木 勇 菊 地 幸 沢 田 一 藤 田 弘 高 橋 強 石 橋 寛 森 本 千 横 山 讀 鈴 木 幸 渡 邊 子 横 山 靖 鈴 木 秀 ケイ子	7 5 6 7 5 4 0 7 3 8 6 8 6 4 4 9 5 7 9 4 3 0 3 3 2 2 7 6 4 7 3 5 8 6 8 6 2 3 6 3 3 6 7 0 3 3 7 2	田尻沢中町12-7 田尻沢中町6-16 元町16-2 日吉町40-22 元町4-15 扇町2-9 扇町83-27 比内町5-3 元町23-14-5 栗田町5-14 扇町91-22 栗田町17-33 日吉町10-67 比内町20-48 高美町1-21 田尻沢西町6-16 元町3-13 元町2-17 田尻沢東町3-62
17	田 尻 沢	佐 藤 金 一 田尻沢中町6-16	6 8 7 9	伊 原 恒 美 田尻沢東町2-30	5 4 2 0				
18	高 美 町	児 玉 秋 男 洪谷地93-4	6 1 0 9				会 計 監 事 中 津 川 正 佐 々 木 勇 菊 地 幸 沢 田 一 藤 田 弘 高 橋 強 石 橋 寛 森 本 千 横 山 讀 鈴 木 幸 渡 邊 子 横 山 靖 鈴 木 秀 ケイ子	6 1 0 9 5 4 0 7 3 8 6 8 6 4 4 9 5 7 9 4 3 0 3 3 2 2 7 6 4 7 3 5 8 6 8 6 2 3 6 3 3 6 7 0 3 3 7 2	高美町1-21 田尻沢西町6-16 元町3-13 元町2-17 田尻沢東町3-62
19	下 表 町	海 風 敏 夫 元町16-3	7 3 1 5	大 塚 誠 智 元町13-28	3 0 1 5				
20	駅 前 町	深 井 繁 扇町9-54	5 6 8 1						
21	は ま な す 町	佐 藤 な 子 日吉町43-1-204	8 2 1 2						
22	日 の 出 町	藤 田 徳 司 日吉町20-2	5 8 2 0						
23	改 良 住 宅 町	清 野 久 雄 栗田町12-2-106	1 2 3 0						

新屋地区

子供見守り隊

活動状況

町ぐるみの防犯活動から絆づくりを

秋田市立日新小学校校長 藤 井 良 一



校長室の窓の外には、陽光を浴びて元気に校庭で遊んでいる子どもたちの姿が見えます。日新小学校九百七十八名の子どもたちの健やかな成長を願いながら、毎日、授業や生活の指導等に取り組んでいます。新屋地区の子供見守り隊は、新屋地区の子供見守り隊、PTA生活安全部、新屋交番、スクールガードリーダーの方など、多くの方々から見守っていただき、本校職員も保護者の方々とともに皆様の御苦勞に感謝しています。新屋地区の見守り隊は、新屋振興会の方々とともに、地域の皆様やPTAが中心となり子どもたちの登下校の安全を守るべく平成十七年に結成され、現在、会員は約二百名になっています。五月二十九日に行われた全市一斉のパトロールでは、市の職員の方をリーダーに新屋地区の子供見守り隊の方々と本校職員による地域の見守りを行い、公園の安全や廃屋の確認など、日ごろ見逃しがちな点について点検を行いました。

校内においては、西地区スクールガードリーダーから校外の点検についてアドバイスをお願いしたり、新屋交番のご協力により学校に不審者が侵入したという設定で不審者対応避難訓練を実施したりするなどの安全対策に取り組んでいます。

子どもたちは見守り隊の方々との触れ合いが多くなり、元気にあそびが出来るようになってきています。このことから、地域の方々から子どもたちの安全を守っていただいているばかりでなく、人と人との結びつきの大切さも教えていただいているように考えます。この子どもたちが大人になったときにも今の活動が引き継がれ、さらに活動が盛り上がることで、地域ぐるみの防犯意識が定着してくれること、そして、この新屋の町が人と人の結びつきによってますます安全で安心な地域になってくれることを願っております。

各町内班から

子供見守り隊活動のこれまでの到達点と今後について

第一班 渡邊 一義

世代をになう子供たちの下校時等の、安全・安心を合言葉に、隊員の皆さんの献身的役割のもと、その行動が日に日に軌道に乗りつつあります。

私たち第一班（愛宕町、日の出町等）は、現在隊員十八名発足時に決めた区域にて休日を除き毎日子供達を見守っています。当初から特別な都合がない限り雨の日、風の日、雪の日とほとんど毎日のように見守り行動にガンバってください隊員もおり、子供達にも慕われ本当に頭の下がる思いです。

先日、発足以来初めて隊員が一同に集い、これまでの感想、今後、気配りをしなければならぬこと等話し合いました。その際、今後特に注意すべき主なこと（要望含）として

① 決められた下校道路の帰路について帰路の際には縁石には絶対に登らない声かけの徹底。

② 通称「上の坂」を逆走行して行く車が最近見受けられるので、子供たちの安全を確保する意味合いからも大人たちに徹底した注意を関係機関と協力して行う。

③ スピード違反、交通マナー、ルールの遵守等事故が起きてからでは遅いとの話が隊員から口々に出されました。

④ 隊員の高齢化が進んでいる、若い人の協力をもっと呼び掛けすべきだ。……等々がその主なものでした。

子供が可愛い、声掛けに対する子供の反応が日増しに良好になってきている。

また、やってはならないことはその場で声掛けしよう。関係・関連機関との連携、事故があつてからでは遅い。

引き続き見守り隊の目的・行動を、決して無理をせずに気を長くしてしっかりとやり遂げていこうと、集まった隊員で確認し、散会しました。

日新保育



子どもたちを犯罪や事故から守るために

二班の一隊員数（二十名） 佐藤 吉茂

二班の主たる見守り箇所は、関町の忠専寺前交差点と栗田町県営住宅前押しボタン式信号機がある交差点である。関町の方は、十名の隊員を曜日ごとに振り分けて見守り活動をしている。

県営住宅前の担当は十名であるが、いろいろな事情から実情は四ないし五名による活動になる。児童の下校時刻が仕事や行事と重なることもその要因となっている。

子どもを犯罪から守ることが主目標であるが、それ以上に交通事故に遭わないように気配りし、指導をしているのが現状である。特に歩道のない道は右側歩行が原則であることが理解できていない。

最近、挨拶をする子どもの増えていることがうれしい。



忠専寺前で見守り

二班の二 高野 トヨ

私達は学校から三〇〇M南忠専寺前で五十代後半から七十代までの男四名女六名の十名が曜日を決め見守っているチームです。

学校から近く集団で通るせいか、必ずあいさつをして学習した作品を見せてくれる子供もいます。交通のしまりを注意すると素直に聞いてくれるので楽しく見守りを続けられます。今後も事故のないのを願って見守りをします。



地域と見守り隊と保護者と

日新小学校PTA会長 菊地 誠



新屋の皆様には、平素より子どもたちに対して温かいご支援をいただきありがとうございます。さて今、子どもたちは、残念なことに二つの大きな危険にさらされています。一つは、心をむしばむ悪質なインターネットサイト・メール等の目に見えない敵。そして、もう一つが子どもたちを狙う不心得者(人間)たちです。

特に不心得者たちから子どもたちをいかに守るかということは、人間社会で最も喫緊の問題ともいえます。そのために汗をかいてくださっているのが、新屋地区子ども見守り隊の方々です。見守り隊の皆様には、保護者を代表しまして、心より感謝申し上げます。子どもたちを育てるのは、家庭・学校・地域の三者であると言われていますが、この見守り隊こそ、地域で子どもたちを育てているという最もわかりやすい見本だと思います。見守り隊の方々は、そのほとんどが子ども世代の父母ではなく、いわゆるおじいちゃんおばあちゃん世代の方々です。地域を支えてきた世代とこれから地域をつくっていく世代がふれあっていくこと、加えて、こうしたおじいちゃんおばあちゃんたちの「行い」を間近で見ることで、子どもたちに良い影響を与えないわけがありません。

我々子どもの保護者というと、朝、街頭に立ち交通安全の指導等を行ったりしていますが、安全という面では、見守り隊の方々に多くを頼っているというのが実情かもしれません。しかしながら、見守り隊の方々のあいさつやねぎらいの言葉をかけることで、地域の連帯感をさらに強いものにする努力は忘れないように、PTAでは保護者全員に呼びかけているところです。

冒頭に述べたような目に見えない敵から子どもたちを守ることは保護者の役割です。保護者には他にやるべきことがたくさんあるのも確かです。その上で、保護者も見守り隊の方々と同じ、地域の大人のひとりなのだから、「自分の子どものため」だけでなく「地域の子どものため」という複数形での見方をする、みんながそうすることで、今よりもさらに安全で住みよい地域になっていくのだと考えています。

今後とも新屋の皆様には、子どもたちと日新小PTAに對しまして、ご指導ご協力よろしく願っています。

私達の見守り活動について

三班 齋藤 忠男

私達の班は発足後も数名の新規参加者がある一方、体調不良等で休んでいる方もあり現在二十名弱で活動しています。範囲は北新町全域と南新町の一部ですが、参加できる日・時間帯に自主的に参加し無理はしない、させないということをやってきました。最初はなかなか子供達と挨拶も交えなかったのが、今では子供達の方から積極的に話しかけてくるようになり、又地域の方からの声掛け等もあり活動が地に着きだしていると感じられるようになりました。二年間活動してきて、今迄は定められた箇所で見守りをしてきたのですが、子供達の行動範囲や周辺環境の変化等を見ると、他の方法もあるのではないかと感じています。

隊員の皆さんの高齢化が年々進んでいることもあり、これからは、今迄と同じように決して無理をせずに自主的に見守り隊の活動を続けていきたいと考えています。



私たちの見守り活動

五班 海風 敏夫

五班の見守り隊の隊員数は少なく、男性四名、女性三名の計七名です。見守りの体制は当番制でなく、その日に都合の良い人が見守りをしています。場所は、中表町の「さわやか薬局」の十字路地点です。

忠専寺から「さわやか薬局」までの通学路

は道幅が狭いところに四・五人が横に広がって歩いているのが多く見受けられ、また、背後から車が来ても一向に意に介さず、話しやじやれあい夢中で危険ですので、大声で注意をしています。

見守りは外部からの指導だけでは限度があります。

家庭内でも子供に注意するなど、見守る必要が大きいのではないかと感じています。



挨拶と笑顔に支えられて

六班 中津川正次郎

今日は！第六班のメンバーと子供達です。総勢二十名ですが、仕事の都合などで参加できなかった人達を除いての集合写真です。子供見守りの取組みは四季を通じてのものですが、照る日、曇る日、雨の日、吹雪の日ありで、高齢者主体の集団には困難も伴いますが、幸い事故もなく、子供達と交す「お帰り！」「只今！」の挨拶と笑顔に支えられて続けています。健康に留意して、他班の仲間達と連携して楽しく続けたいと思います。



気負いせずに気楽に

八班 進藤 二郎

第八班子ども見守り隊の範囲は下校時の経路が二つに分かれており大川町地域と十条団地地域を受け持っています。大川町は隊員が八名で带状公園の「みくら橋」を見守り地点にしてその周辺を含めて隊員が毎日下校時に合わせフリーに実施しております。

また十条団地は隊員が十三名で「さくら橋」を地点にして事前に曜日と時間を個別にきめ当番制で実施しております。

見守り隊発足当時は毎日の事であり役目が果せるかどうか不安がありました。

また子ども達も隊員に挨拶がなかなか出てきませんでした。しかし三年目の今ではしっかりと馴染みになりお互いがこやかに「お帰り」「ただいま」の掛けを交しております。

隊員としては子ども達の元気な笑顔が何よりの励みになっております。

風雨や吹雪の日はとても厳しい時もありますが帰って来る子ども達を思うと自然に足が向いて行きます。

高齢者の多い隊員ですがそれぞれ自分の体調考えて気負いせずに気楽に活動することが長続きの秘訣だと思っています。隊員一同がんばっております。



各町内班から

秋田県スクールガード・リーダー

塚田 浩 詞



「『まもるメール』が入り心配で」と下校路で不安な面持ちで子どもを待つ保護者が多くなっている。声を掛

ける・引っ張り込む・体を触ると言った事件が頻発し衝撃を与えている。登下校時の安定確保は地域社会に突きつけられた緊急課題となった。保護者・学校・住民が力を合わせて監視目を強め、危険な環境を少しでも減らそうという運動が各地で動きだしている。

▼新屋見守り隊の皆さんは、この問題を他人事とせず、ボランティアの先頭に立って、毎日通学路で見守ってくれている。「一人ひとりがとてかわいいいね」「地域の宝ですからがんばっています」などの言葉からは、子どもたちを愛する喜びが伝わってくる。風雨、炎天下、極寒の中でメンバーから発信された「笑顔とあいさつと無償の愛」は、子どもたちに多くの感動を与え、長く心に残っていくものと確信する。

▼地域の教育力が低下しているとよく耳にする。外で悪さをする子どもを見ても誰も見ぬふり。親や先生の前で良い子で振る舞っている文句をいわない環境で育っているという。見守り隊は、地域の長老として、社会のルールに気付かせ、「社会人としての心」を育ててくれている。地域教育の力復活の貴重な存在だ。

▼地域の目による見守りは、程度の違いはあっても誰にでも可能である。散歩途中や自宅前で通る子どもに温かい目を向けてくれる人、「子ども一〇番の家」を引き受けてくれる人、見守り中の人に「お疲れさま」と一声かけてくれる人、このすべてが、新屋の子どもたちを守る運動につながっている。無関心と付け込まれない環境作りも意外とできることがある。通学路の消えた外側線の引き直し、公園内の見通しを妨げ

ている草木の剪定、通学路への街灯増設など、地域が要望すれば管理者は必ず応えてくれる。引っ張り込まれそうな空家も空地も、持ち主の僅かの配慮で改善できる。それぞれの立場と知恵で、「地域の宝」に一肌脱いでくれることを、これからも希望したい。

新屋地区子供見守り隊の活動について

隊長 藤澤 浩



新屋地区に「子供見守り隊」が発足して、三年目を迎えました。児童数一、〇〇〇人に近いマンモス校日

の下校時に、緑の帽子・緑の腕章を着けて指定された場所で活動している。登録されている隊員約二〇〇名、六十歳を過ぎた隊員が多いが、「元気に帰ってくる子供達の『今日は、ご苦労様です』」の声に励まされて頑張っています。定点見守りから、寒い時には子供と一緒に歩く移動見守りも取り入れていきたい。

「あくまで無理なく自分のできる範囲内です」と言うのがこの隊のモットー。交通量の多い場所を拠点とし約十班が編成されており、曜日を決めて参加する班、用事等のない日に参加する班とさまざまですが、最近自主的に参加する人も増えてきています。

具体的な取り組みとして、学区内の危険マップの作成、「スクールガード活動中」の「ステッカー」を貼った自動車二十台の巡回等で、「この町にもパトロール隊がいるんだ」という意識が浸透すれば不審者も入ってこないのではと、現に見守り隊発足以来今日まで大きな事故もなく経過している。七月十八日の全体会議で組織の再編成が討議され、隊長、正副班長を置き運営を協議していく事となりました。最後に、隊として目新しいことを行なう予定はありませんが、自分達も事故に遭わないよう気をつけ、子供達を事故から守りたい。そして、とにかく長続きさせる事が一番大事だと思います。

私達の活動

九班 鈴木 厚

南団地町内の子供見守り隊の活動状況をお知らせします。

見守り隊が昨年の四月に発足した際に町内会総会において見守り隊の趣旨と役割を説明し隊員の募集を行いました。又回覧でお知らせし募集したところ十九名の応募がありました。

その十九名の中身は町内会から、老人クラブの中からさらに婦人会の方々からの協力を得ることができました。

この人達に次のようにして協力していただいています。学校の下校時間に合わせ新屋豊岩線県道南団地入口前の信号機を中心に見守りを行っています毎日立っののはやはり容易ではないので日割をし実行しております。このように実施しますと月一回程度の割に回ってきますので負担も軽く長続きが可能ではないかと感じています。

協力していただく方々はリタイヤした人が多く特に健康に注意し決して無理しないようお願いしております。私の当番日に見守っていますと「あつ、ノンちゃんのおじいさん」といって声をかける一年生がおります。実は私の孫も今年一年生なので嬉しくなり、この子供達を見ていると安全に健やかに育ってほしいと念じています。



一番遠くの見守り隊活動

十班 児玉 秋男

私達は第十班です。隊員は八名ですが特に日時の割り振りはしておりません。

学校からの時間表を見て最初に「いずみ郷」前のスクールバス停にて待つており高美町方面へ道路を横断する子供が多いので横断をさせてから田尻沢バス停近くと南団地入口の信号の三ヶ所に立ちます。南団地入口に何人かいるときは西部工業団地入口に立ちます。学校から一番遠い所です。駅あたりまではまじ



七班 下校時の子どもたちと一緒に！



小学校付近で活動する四班



めに歩いてきますがそれから時間がかるのです。空缶をつぶしたり、石をけつたり草花をとったり田尻沢、高美町まで下校時間から四十分～五十分はかかりますので早く帰りたいと注意と声をかけ合い、子供たちの安全のためにがんばっております。

その日によって隊員の多いときは青色灯の車に二、三人乗車して主に通学路をパトロールしております。無理をせずに子供達のため長続きしたいと想っております。

高田宮賜杯 第二十八回全日本学童軟式野球大会秋田市予選

戦績

一回戦 八七 寺内
二回戦 五三 大住
三回戦 十三 一 泉
(五回コールド)
準々決勝(代表決定戦)
七二 外旭川
準決勝 六一 築山
決勝 十二 五 川尻
(五回コールド)

一・二回戦はスペシャル・時間切れ適用と苦戦が続き冷や汗ものでしたが三回戦以降は比較的楽な試合展開となり子供達の努力と運に恵まれ秋田市優勝として五年ぶり三回目の県大会出場を勝ち取ることができました。七月五日より県大会が始まりますがまだ成長過程の子供たちです、新屋日新の名を胸に思いいつ切り暴れてもらいたい、そう願っております。



新屋松林再生計画委員会の活動について

昨年九月に発足した「新屋松林再生計画委員会」は今年に入り、全町民に呼び掛けて、先進的に活動している湯上市天王地区との学習懇談会の開催、県地域振興局との懇談会の実施、更に地域振興局川越課長より出席してもらい、松くい虫被害の状況、今後の対策、土地所有者の把握等に意見交換をしております。

◎具体的取り組み
一、新屋関町後(バイパスを挟んで海側の防砂林と住宅側の防砂林)の土地所有者の把握とマップの作成

二、新屋地域内の被害状況の把握と対策
※忠専寺前の立派な松が被害にあい最近切られました。もし自分の屋敷内の松がおかしいと思ったら、「秋田市農地森林整備課 八六六二二一七」か、「新屋松林再生委員会渡辺 八二八六六五八」までお知らせ下さい。
※秋田市では、毎年各町内を対象に松くい虫被害の予防に「薬剤」を無料交付しております。今年の申し込みは終了しましたが、「広報あきた」五月十六日

第六回新屋地区 スクールコンサート開催

恒例になった交通安全協会新屋支部主催のスクールコンサートが、去る六月二十九日(日)秋田公立美術工芸短期大学体育館で開催され、約七〇〇名の市民が音楽の競演を楽しみました。

◎オープニングは「新屋囃子」(日の出町)に始まり、続いて幼稚園児がミニ警察官で演じる「交通安全メッセージ」の劇が披露されました。

◎演奏

一、新屋日新太鼓(日新小学校太鼓クラブ児童)

指導代表 鈴木 恭治

二、日新小学校吹奏楽部

指揮 大山 光子

◎おどるボンボコリン

◎はばたけ秋田っ子

◎ハイ・ジュード

◎宇宙戦艦ヤマト

三、秋田西中学校吹奏楽部

指揮 伊藤 香

◎マーチ「晴天の風」

◎元禄

◎ふるさと

◎合唱とブラスのための楽曲「大いなる秋田」第三楽章 躍進より

四、新屋高等学校吹奏楽部

指揮 塩谷 晋

◎篤姫メインテーマ

◎ブライアンの休日

◎ジャバニージャグラフィティIV

◎風になりたい

◎第三の男

※さすが新屋高校の吹奏楽部、アンコールに於いて三曲を披露して観客全員の拍手の中で終了しました。

◎河川功労者表彰(団体)

秋田市夏まつり雄物川花火大会実行委員会

この功労者表彰は、日本河川協会が行なっているもので、功績の概要は、「河川に関する事業促進、愛護、文化、研究、水防、地域の活性化(八分野)」の活動に功績のあった団体、個人を対象にしており、今回「秋田市夏まつり雄物川花火大会実行委員会」は、秋田西部地区の連携・振興を目指し、新屋地区振興会、新屋勝平地区振興会、茨島町内連合会の有志で結成され、昭和六十三年に「雄物川放水路通水五十周年記念」として一回目の花火大会が開催され、昨年は節目の二十回を数えた。この花火大会が、放水路事業の役割を後世に伝え、放水路で分断された左右岸地区の連携や地域振興に大きく貢献したことに對する表彰



表彰

◎民生委員・児童委員厚生労働大臣特別表彰

伊藤 一(北新町)

◎秋田市民生児童委員協議会会長表彰

石井 エミ子(市営住宅)

長年にわたり、民生児童委員として、功績のあったお二人です

◎秋田市功労者(一般表彰)

◎税財政(納税貯蓄組合長)

鈴木 厚(南団地)

◎社会福祉(民生委員・児童委員)

鈴木 ケイ子(田尻沢町)

本 川 圭子(大川町)

◎教育・文化(青少年育成)

森 本 讀 春(比内町)

◎教育・文化(児童育成クラブ世話人)

高 島 葉 子(緑 町)

下 間 百合子(愛宕町)

◎教育・文化(体育)

横 山 茂(高美町)



郷土の先人

エコ生活の先駆者

森川源三郎翁と余楽庵

明治時代の農業指導者（『國史大辞典』吉川弘文館による）

時代は江戸末期。アメリカのペリー提督が、浦賀沖に來航して開国を求めたのが嘉永六年（一八五三）。英国が中国に対してアヘン戦争（一八四〇～四二）を仕掛け、香港を始めとした多額の補償・賠償金を奪い取るなど欧州諸国の攻勢が激しさを増す中、祖国が他国の属国にされる危機感を強くする時代であった。



森川翁写真（大正10年1月撮影）

秋田県内の農会（戦前の主要農業団体）の結成に尽力し、県内の農業の育成に多大の功績を残すと共に、勤儉貯蓄思想の普及に務め、報恩、自然愛を説き、自ら実践をした、言行一致の偉人である。

森川翁略歴

弘化二年（一八四五）二月一日
河邊郡百三新屋字黄金谷百四番地に長男として生まれる
安政元年（一八五四・一〇歳）
秋田藩士の、父森川又五郎は、

調停、公事訴訟なども司
どっていた。※

明治一〇年十月

各県の産業視察に赴き、第一回
内国勸業博覧会を見て帰郷。

明治一三年（一八八〇・三六歳）

県植物自由試験場担当人となる
大豆培養の功により、県令（県
の長官）石田英吉より銀牌授与。

明治二二年（一八八九・四五歳）

浜田村有志により貯金組合創設
明治二六年（一九〇三・四九歳）
父母に孝養、農業奨励、勤勉儉
約、家政を整う故を以て秋田県
知事より表彰される。

明治二七年十一月

（一八九四・五〇歳）

九州へ農事奨励、農家経済の講
演行脚の後、農会組織の必要性
を痛感し、石川翁を助けて農会
組織運動に奔走。

明治二九年（一九〇六・五二歳）

秋田県農会副会長に推挙される。
河辺郡農会を結成。この年石川
翁、適産調を開始し、これを援
助する。

明治三〇年（一九〇七・
五三歳）

新屋町墓地掃除組合、
新屋婦人会等を設立。
東京で開催された全国
実業大会出席。

明治五年（一八七二・二八歳）

この年凶作のため石川
翁と共に救荒本部を組
織。幹部として活躍。

明治七年（一八七四・三〇歳）

新屋村副戸長となる
明治一〇年（一八七七・三三歳）
三月～十月新屋村戸長となる。
「精農会」を設けて品評会を行
いライ麦の栽培、食用・乾菊の
栽培、普及に尽力。

※「戸長」とは、従来の「肝煎」
の役を引き継いだ役職である。
肝煎は、村の施政一般、和解

招かれて石川翁他と共
に、宮崎、鹿児島の開
墾地の農民指導に赴く

明治三四年（一九〇一・五七歳）

全国肥料取次所相談役・秋田県
農会名誉会員に推薦される。
晩年経営する河辺郡上北手古野
二見山の植林地を買い受ける

明治三五年（一九〇二・五八歳）

大日本農会総裁より有功章を贈
られる

明治三六年（一九〇三・五九歳）

上北手古野二見山に植林を開始

明治三七年（一九〇四・六〇歳）

緑綬褒章受章 その表彰文

「（略文）意を興農に注ぎ、麦、
豆、馬鈴薯、果樹の栽培に力を
つくし、良種を分かち、老農石
川翁を助けて県内に各種の農会
を作り、推されて正副会長を務
め、各地を視察し、農事諸会に
て経験談を講演し、殊に貯金組
合を設け自由試験場、稲作講、
商工会、婦人会を創立し、実業
を勤め、風潮を正し、益をもた
らすこと農民の模範である」

明治三八年（一九〇五・六一歳）

一切を一子元直に委ね、現秋田
市上北手の二見山に年間二五〇

日山居生活を営む。「草庵植樹
庵」を「余楽庵」と改称。廃物
利用によって簡素な生活を営み
一五町歩の山地を開き、杉五万
三千本、松千五百本、柏千本、
サワラヒバ類二千五百本の植林
事業を行った。

明治四一年（一九〇八・六四歳）
皇太子殿下御來県に際し、令旨
を賜る。

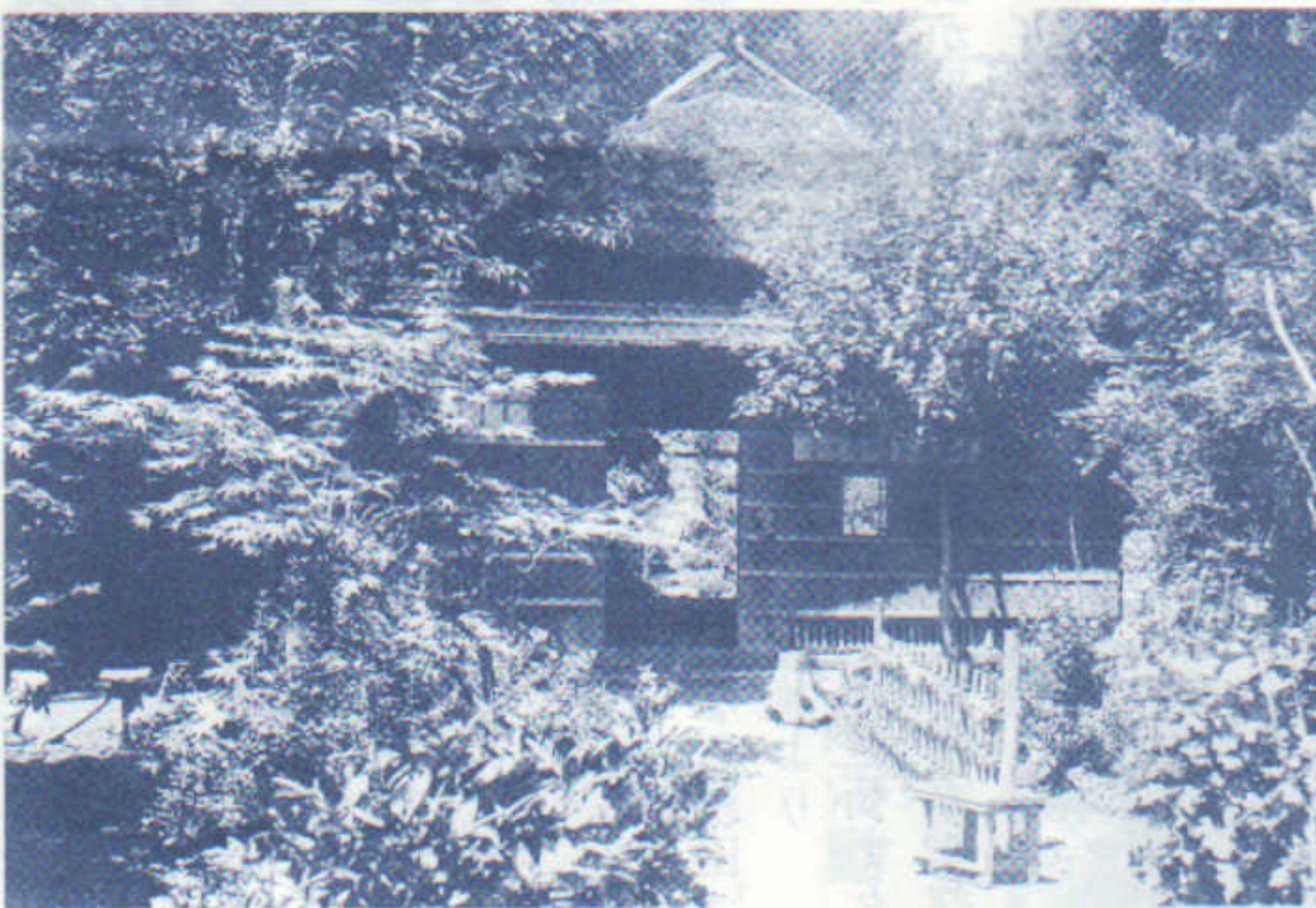
明治四五年（一九一二・六八歳）

石川翁 仙北郡強首村九升田部
落の荒廃挽回に着手。これに協
力。
大正五年（一九一六・七二歳）
同志の人々を二見山に集め、石
川翁の追悼会を、廃物を以て作
れる祭具を用いて行う。
大正一五年六月七日（一九二六）
八二歳永眠

二見山（余楽庵）の
経営を思い立った理由

一、他地方と異なり、禿げ山、裸
山が少なく地味が肥え、土地が
広大であること。
二、外国人に本県の育林の粗
雑さを指摘され、奮起した
こと
三、秋田市付近に実益と教育
と娯楽を兼ねた田舎風の公
園の設置を目指したこと
（この場合の「実益」とは
自然から受ける恩恵であり、
「娯楽」とは、心安らかに
自然を満喫するというニュ

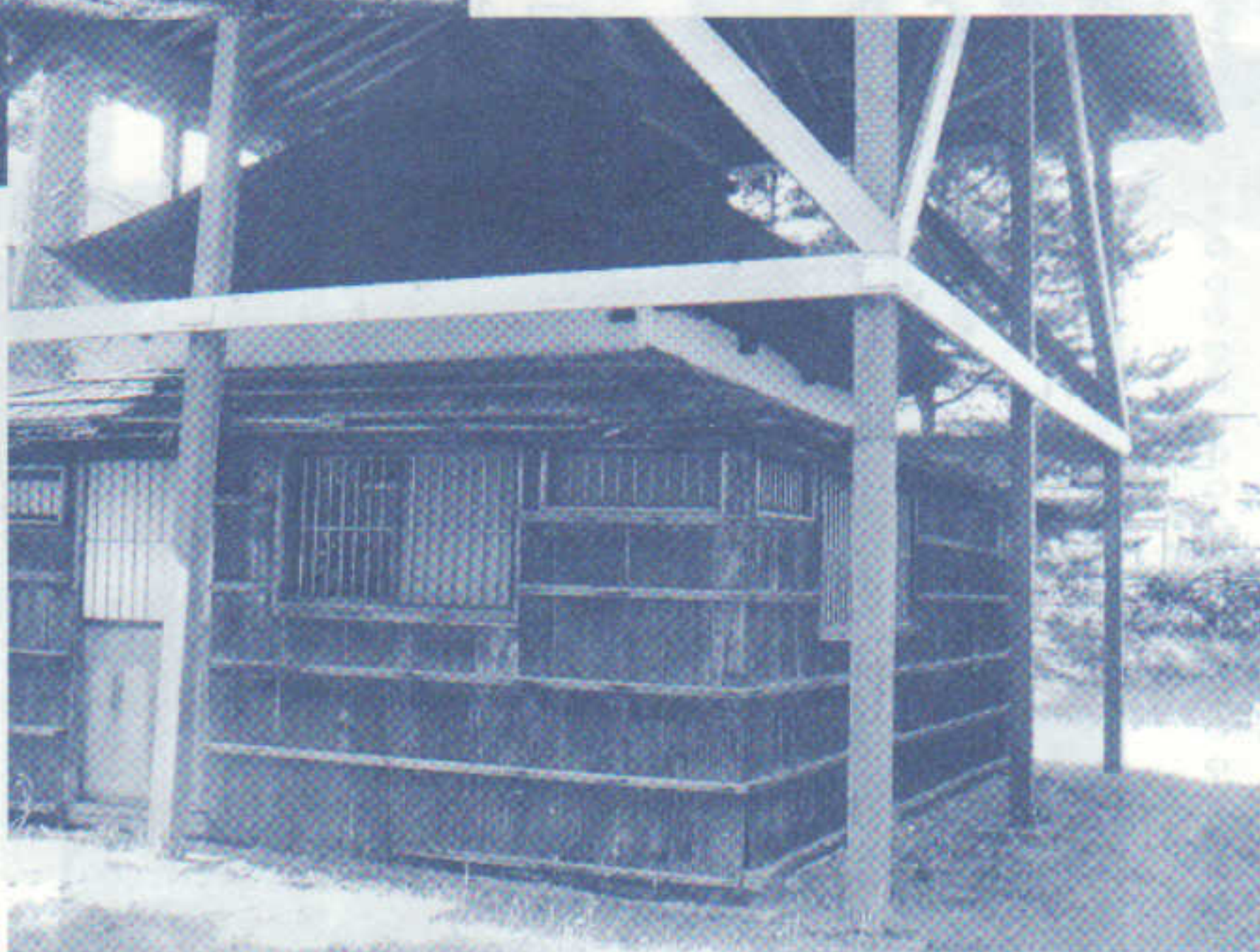
アンスであろう）
現在の余楽庵は、森川家の敷地
内に移築された後、秋田市の管理
となっている。森川家にお住まい
の森川カツさんは源三郎翁の孫に
当たる



森川翁が上北手古野に結んだ余楽庵
（大正4年7月12日撮影）



現在新屋比内町に
保存されている。



（原典 新屋町郷土史・
秋田市赤れんが郷土館
「秋田の先人森川源三郎
翁展」（平成三年二―三
月）パンフレット参照）

自治組織の役割

(比内町誕生三十周年にあたって)

比内町町内会 会長 佐々木 勇 吉



昭和五十三年四月「比内町」が誕生して早いもので三十年の歳月が経過しました。

総世帯数三七五戸の比内南町が「駅前町」と「比内町」に分町した理由は

一 町内の範囲が新屋駅前通り周辺から内浜田の一部までと非常に広い

二 世帯数が三七五戸では、町内会が色々な事を打合わせをする為に集まる会場の確保(町内会館が無い)や、町民の意見を

を集約するのが大変であるという事で、駅前町一五四戸、比内町二二二戸に分町する事が、昭和五十二年度の比内南町町内会の定期総会に提案され、賛成多数で可決、そして昭和五十三年四月一日「比内町」が誕生し、また当然の事ながら町内会も発足し現在に至っております。

発足以来三十年の間には、役員改選も十五回行われており、現在六人目の町内会長をお引き受けしているところであります。

三十年前二二二戸で発足した比内町は、その後大型宅地開発等により住宅団地が二カ所も出来て、急速に世帯数も増え、平成二十年

四月一日現在五七七世帯、人口約一、五〇〇人と新屋町二十三町内会中、面積も世帯数も一番広くそして多い町内会となり、秋田市内一、〇二四町内会の中でも規模の大きい町内会に属すると聞いております。

市民協働の為に、自治組織はある程度は大きい方がよいとは思われますが、世帯数が多くなると当然の事ながら住民ニーズも複雑多岐多様化し、これらの問題を全て要望通り解決する事はなかなか困難であります。

昨年度の我が町内会の要望事項の主なものは、ゴミ集積所設置問題、側溝の泥あげ、交通安全施設や街灯の設置、空地や道路脇の草刈り、アメシロや蜂の巣の駆除、除排雪問題や除雪による施設・工作物の破損問題等々と言った生活環境の維持や整備の問題が有りました。(変わったものでは「自宅の前の道路で猫が車に轢かれて死んでいるから始末して欲しい。」と言った事もありました。)その他当然の事ながら町民の親睦を図る為の様々なイベントも行いました。

最近「市民協働」と言う事が頻繁に言われますが、これは、行政(市)と地域(市民)が共通の目的を達成する為に、協力して働く事であり、以前の様に何から何まで全てを行政にやっていただくと言う事ではなく、これからは自助努力により「自分たちでやれる事は自分達で……」これが「市民協働」の基本理念(原則)であると

思います。

今後少子高齢化社会が予想以上のハイスピードで進むことでしょう。現在後期高齢者の総人口に占める割合は、九・九パーセントと言われているとあります。一〇人に一人が七十五歳以上という世の中に間もなくならうとしております。

そして国は勿論、県や市の財政事情は今後益々厳しいものになる事と思いますが、この様な時こそ、地域や家族でしっかりと「人の絆づくり」に取り組み事が是非とも必要であり、そして地域が一体となってお互いに助けあい、協力しながら睦まじく生活して行かなければならない本格的な「地域共生時代」になって行くのではないかと考えられます。

長年にわたり国を守り、郷土を愛し守り続けて来られ、現在の様な平和な社会の礎を築かれた高齢者の方々に、地域の皆で大切に、常に感謝の気持ちであたたかく見守り、仕合わせな老後を送っていただく様に、そして住民皆が「比内町に住んで本当に良かった、比内町に住んでいる事を他に誇れる様な町。そして仕合わせを実感出来る町。」この様な地域(町内会)となることを目指して頑張らなければならぬ。と自分に言い聞かせているところであります。



灯 油 ガス器具 のご用命は 電話 (828) 4 5 1 4 (代表) FAX (828) 4 5 1 5 秋 田 市 新 屋 大 川 町 5-9 日新プロパン株式会社	十條ゴルフガーデン ベーカリーJujo 十條きのこ園 秋田十條化成株式会社 秋田市新屋鳥木町1-1 8 2 8 - 1 7 7 6	新屋工業株式会社 秋田市新屋鳥木町1-73 電話 (代) 828-5874 電気設備工事・設計施工 有限会社 打矢電気工業 代表取締役 打 矢 道 雄 秋 田 市 新 屋 表 町 11-23 TEL 828-2923 FAX 828-2920
有限会社 榎食品 きりたんぽ 秋田市新屋元町9-3 TEL 018-828-3823 FAX 018-828-3824	醤油・味噌・しょうつる (有)仙葉善治商店 秋田市新屋元町14-10 ☎828-2102	＝ 創業77年 ＝ 植林から製材・木造建築・土地開発までの一貫生産 山林部・製材建材部・建設部・不動産部 高松木材 ☎828-4310 FAX 828-4317 秋田市新屋大川町20-3 (西中グラウンド隣り) ＝ 1千万年前の海水 ＝ 総ヒバ造りの純木造大型建築 福祉健康新屋温泉 ☎888-8800 FAX 888-8700 営業時間 平 日 午後1時～午後9時 土日祝 午前10時～午後9時 定休日 月曜日(祝日の場合は翌日休み)
酒・たばこ・各種食料品・雑貨 サトウチップ (5・15・25日 2倍セール) タウンマート サトウ 新屋元町11-24 ☎828-3911 FAX 3107	青果と食料品 高橋商店 新屋表町11の35 ☎828-3124	富野精肉店 秋田市新屋表町6の15 ☎828-4118 電気設備工事・設計施工 株式会社加島電気工事 代表取締役 加 島 和 子 秋田市新屋元町5-4 TEL018(828)3118(代表) FAX018(828)1539
車のことなら なんでも 石和田自動車 秋田市新屋大川町19-81 0120-28-3037	カービニ倶楽部 小玉自動車 民間車検工場、全労済指定工場、車検、鈑金塗装 良い設備、すぐれた技術、まごころサービス 秋田市新屋扇町7-8 828-5645 (代) 小規模多機能型居宅介護 ひかり苑 〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町11-18 TEL:018-828-8006 FAX:018-888-9511 庭づくりにお手伝い致します。 庭園・土木・設計・施工・管理 小野造園土木 新屋扇町92-74 ☎828-4265 代表 小野 由春	

森川内科・呼吸器科クリニック秋田市新屋表町 3 番18号
電話 018-888-8363**木村内科クリニック**
木村 衛秋田市新屋田尻沢東町10-5号 新屋高校バス停前
TEL 018-828-1112 FAX 828-1114

内科・外科・胃腸科

一戸医院月曜から金曜 午前9:00~午後6:30
土 曜 午前9:00~正午まで

☎828-2221

秋田市新屋大川町9番7号
美術工芸短大入口・バス停前**稲葉
整形外科医院**

稲葉 勉

秋田市新屋扇町6-33

☎828-2111

もとまち歯科医院

西村 圭史

新屋元町5-38

☎888-8814

高橋整体治療院

高橋 紘章

新屋扇町10-16

TEL 828-9848

(親切・迅速・安心)

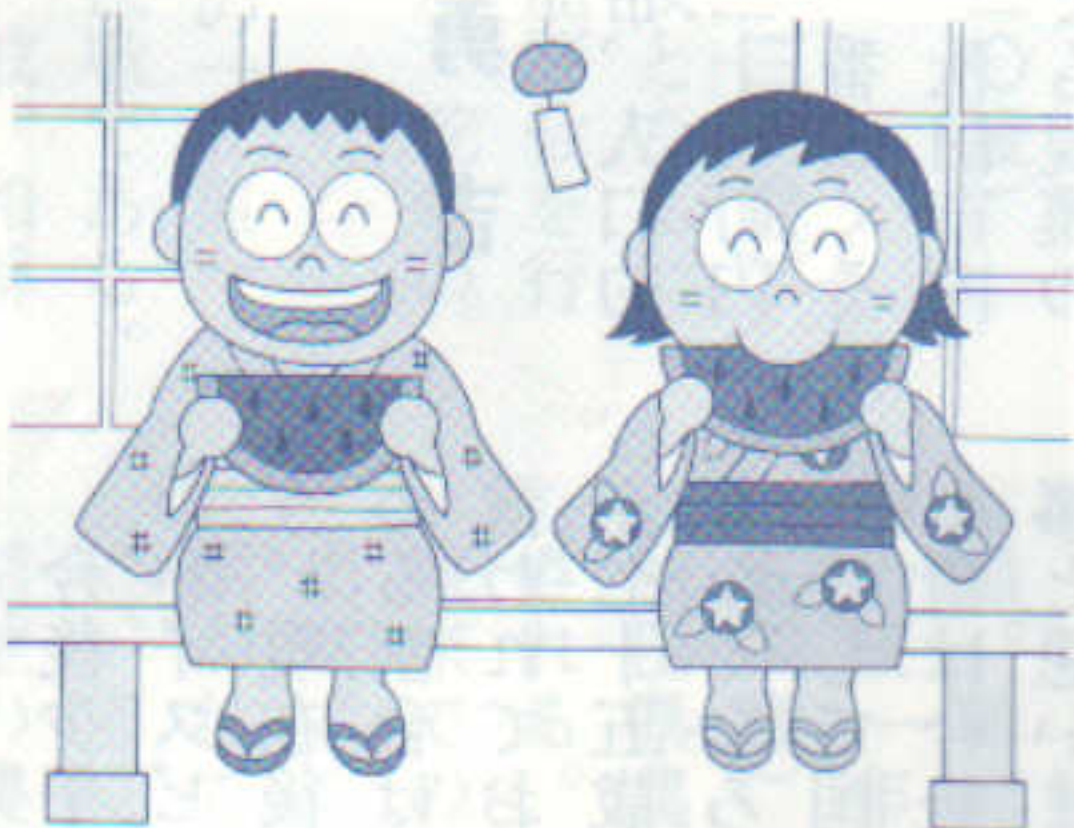
さわやか薬局新屋店

秋田市新屋表町4-1

☎(888) 8371・Fax (888) 8372

**吉田眼科
吉田コンタクトレンズ**

新屋日吉町7-41 ☎828-6080

**三浦歯科医院**

三浦 捷也

秋田市新屋元町22の34

☎828-2109

小児歯科・一般歯科

くまがい日吉歯科医院

小児歯科学会認定専門医

院長 熊谷 仁志

秋田市新屋町字関町後205-1(県住通り)

TEL 828-5582

堀部歯科医院

堀部 真知子

秋田市新屋表町11番3号

☎828-4323

森永牛乳新屋販売店

大山 淳

新屋高美町6-8 ☎828-5503
FAX 828-5226**“タクシーの御用命は”
新屋 タクシー
配車専用 829-4100**

ジャンボタクシーもどうぞ

**ワタキューセイモア
株式会社**病院用等寝具・白衣リース・洗濯業務
秋田市新屋島木町1番69号 ☎018-828-4851**医療から介護サービスまでのトータルケア
株式会社 フォーエバー**代表取締役社長 穂積 緑
取締役専務 穂積 志
〒010-1632 秋田市新屋大川町18-7
TEL 018(828)1850代**“0才から学童までの総合施設”
私たちは、皆さまの子育を応援しています。**秋田市新屋表町8-19
及び8-5

乳幼児保育 対象児 0才~3才

グリーンローズ保育園

☎828-3049

朝7時から夕方7時
健康に配慮した手厚い保育

子育てやことば・きこえの相談

「ことば」の教室**オリブ園**

☎828-7750 828-0140

0才代からの専門的育児相談
ことばの発達・きこえの支援

共に育つ 対象児 3才~5才

ルーテル愛児幼稚園

☎828-3038

キリストの慈しみと個性を育てる教育
夕方7時までの長時間保育
夏休み・冬休みの預り保育**学童保育るーてる**

おもちゃの図書館

おもちゃライブラリー

☎828-0140

毎月第一・第三水曜日 保育園二階
無料 きがるにおいて下さい**みつつ
満3歳になったら
新屋幼稚園へ**

家庭的な雰囲気

お子様をお預かりします。

新屋扇町 4-27
TEL 828-2119**デイサービス****ア・サ・デ・デイ!!**

☎018-828-8170

まめでらハウス!!

☎018-828-8189

居宅介護支援事業所

☎018-888-8177

秋田市新屋扇町7-34

国際規格ISO9001:2000取得



創業 昭和16年

株式会社 **ハセベ**

(旧 長谷部建設株式会社)

秋田市新屋島木町1番31号

TEL 018-828-6000



慶弔花籠・会場装飾・いけ花素材

12-010 Flower Communication

石井生花店

〒010-1631 秋田市新屋元町22-44

TEL 018-828-4428

FAX 018-828-4267

石井生花店インターネットショッピング

URL: http://www.ishiihanaya-akita.jp

E-mail: shop@ishiihanaya-akita.jp

カラープリント30分仕上げ
証明写真、記念写真撮影
デジカメプリント、他**三笠カメラ店**

秋田市新屋元町22-57

TEL/FAX 828-3204

明かるいまちなみを
演出する**新屋街路灯組合**

TEL 828-6535

FAX 828-6043

水と緑に囲まれた
芸術キャンパスのある街**新屋商店会**

TEL 828-6535

FAX 828-6043

“信用と技術を売る店”一級寝具技能士
打直し・仕立・寝具一式
タオル花輪・贈答品ギフト各種**阿部ふとん店**

☎828-1204

電話下さればすぐ伺います。

秋田市新屋元町22-43 (秋田銀行新屋支店前)

有限会社 梅若芸能企画

代表取締役 浅野保二 (梅若)

〒010-1637 秋田市新屋扇町85-22

TEL (018)828-4638

FAX (018)828-4638

いい暮らし届けたい

**ナイス**

新屋店

☎828-6911

傷んだ髪にミラクルパーマ かしま美容室 営業時間 8:00~6:00 TEL 828-3613	ブライダルメイク 一般着付 婚礼 フキ美容室 新屋元町19-13 TEL 828-3623 FAX 828-3623	明日の空気を変えていく  YUTAKA 土木工事一式・環境整備事業 豊興産株式会社 代表取締役 石 黒 望 〒010-1637 秋田市新屋扇町12番49号 TEL 828-4611(代) FAX 828-3373	資生堂チェーンストア 森弥化粧品店 新屋扇町10-1 駅前通り TEL 828-3128
みそ・しょうゆ・手作りつゆ 醸造販売元  森九商店 シキシマ 森 川 亮 一 秋田市新屋表町9-40 TEL(828)2121	フキ美容室 新屋元町19-13 TEL 828-3623 FAX 828-3623	土木工事一式・環境整備事業 豊興産株式会社 代表取締役 石 黒 望 〒010-1637 秋田市新屋扇町12番49号 TEL 828-4611(代) FAX 828-3373	秋の装いは一足先に ブティック ティファニー 店主 小野 トシ子 新屋扇町92-74
 おしゃれサロン みうら 秋田市新屋栗田町16 TEL(018)828-2156 駐車場あります	(有)加藤仕出し店 代表取締役 加藤 隆治 秋田市新屋元町14の1 TEL 828-5077	御料理・折詰・仕出し 工 藤 旅 館 新屋扇町3-22 TEL 828-4706	江戸前 寿し 店 新屋南団地 TEL 828-4665
新鮮一番(鮮魚・野菜・果物) 大塚商店 TEL(828)4307 FAX(828)8234	美容と健康にお米を  大島商店 大川町 TEL 828-3305	日替弁当・大小宴会(30名様迄)承ります。 楽亭 すずらん 新屋元町桜並木通り TEL 828-3233	 高長寿司 電話(828)2522
畳修理一枚でも伺います 鈴木畳店 畳一級技能士 鈴木 仁 TEL 828-4405	美容と健康にお米を  大島商店 大川町 TEL 828-3305	快適生活製造業  株式会社 オノプロックス ONOPROX TEL 828-2108 FAX(018)828-2177	 南波家の手造り もりたんぼ 比内地鶏専門店 秋田市新屋元町14番26号 TEL・FAX (018) 828-4025
年金の お受け取りは 新屋郵便局で 	郵便局株式会社——地域貢献 新屋駅前郵便局 局長 石黒 俊彦 〒010-1637 でんわ 828-4200 FAX 828-0958	酒は 黄金井 黄金井酒造株式会社 新屋表町2-47 TEL 828-4333	年4回。4つの味わいで 季節の移ろいを楽しむお酒。  新政 佐藤卯兵衛 新政の歴史と、 七代卯兵衛「技の結晶」。
暮らしと情報の明日をひらく あなたの街の新屋郵便局 〒010-1631 秋田市新屋元町22番38号 TEL018(828)4324	新屋の酒 秋田晴 TEL 828-1311	出光興産新屋給油所 新屋アポロ 大川町10-25 TEL 828-4224	 三菱マテリアル 株式会社 秋田製錬所 西脇 道雄 秋田市茨島三丁目1番18号
大福の渡勇 新屋元町15-5 TEL 828-4103	秋田大橋のたもと  創業1960年 新屋石油(資) 828-4125 ガソリンスタンド 自動車整備工場	出光興産新屋給油所 新屋アポロ 大川町10-25 TEL 828-4224	 三菱マテリアル 株式会社 秋田製錬所 西脇 道雄 秋田市茨島三丁目1番18号
地域共栄  秋田銀行 新屋支店/新屋駅前支店	秋田大橋のたもと  創業1960年 新屋石油(資) 828-4125 ガソリンスタンド 自動車整備工場	 メガネのシモマ 秋田市新屋表町12-47 TEL 828-4622	 三菱マテリアル 株式会社 秋田製錬所 西脇 道雄 秋田市茨島三丁目1番18号
● 編集後記 ● 第百十一号「あらや衆報」をよ うやく皆様のお手元に届けること が出来ました。今年で三年 目に入り活動も定着してきた、 「新屋地区子供見守り隊」を取り 上げました。 新屋地区内の十箇所で活動して いる隊員の声と写真をお願いした ところ、下校時の子供さんと一緒 に写真に納まつている班が数多く あります。毎日の活動で子供達と お互いに声を掛け合う中から、信 頼関係が図られた結果だと思いま す。「お帰り」の見守り隊員の声 に、「ご苦労さん」の元気な子供 達の声、事件・事故を防ぐ大 きな力となることと、町民 の皆様が一体となつて明るい街づ くりに向けて頑張つて下さること を念じておられます。お気づきの 点がありまして、お気づきの点 が、秋田市新屋支所内「あらや衆報」編集係まで。 「あらや衆報」編集係まで。		贈答品・記念品のことなら何でもお気軽に！  シャディサラダ館新屋店 〒010-1638 秋田市新屋表町12-50 電話 828-1691 fax 828-7983 お電話一本でカットカマログ無料進呈致します	
● 編集後記 ● 第百十一号「あらや衆報」をよ うやく皆様のお手元に届けること が出来ました。今年で三年 目に入り活動も定着してきた、 「新屋地区子供見守り隊」を取り 上げました。 新屋地区内の十箇所で活動して いる隊員の声と写真をお願いした ところ、下校時の子供さんと一緒 に写真に納まつている班が数多く あります。毎日の活動で子供達と お互いに声を掛け合う中から、信 頼関係が図られた結果だと思いま す。「お帰り」の見守り隊員の声 に、「ご苦労さん」の元気な子供 達の声、事件・事故を防ぐ大 きな力となることと、町民 の皆様が一体となつて明るい街づ くりに向けて頑張つて下さること を念じておられます。お気づきの 点がありまして、お気づきの点 が、秋田市新屋支所内「あらや衆報」編集係まで。 「あらや衆報」編集係まで。		電気設備工事・設計施工 猿田電機工業所 代表取締役 小野 一夫 秋田市新屋元町11番11号 TEL 828-4037 FAX 828-1855	
● 編集後記 ● 第百十一号「あらや衆報」をよ うやく皆様のお手元に届けること が出来ました。今年で三年 目に入り活動も定着してきた、 「新屋地区子供見守り隊」を取り 上げました。 新屋地区内の十箇所で活動して いる隊員の声と写真をお願いした ところ、下校時の子供さんと一緒 に写真に納まつている班が数多く あります。毎日の活動で子供達と お互いに声を掛け合う中から、信 頼関係が図られた結果だと思いま す。「お帰り」の見守り隊員の声 に、「ご苦労さん」の元気な子供 達の声、事件・事故を防ぐ大 きな力となることと、町民 の皆様が一体となつて明るい街づ くりに向けて頑張つて下さること を念じておられます。お気づきの 点がありまして、お気づきの点 が、秋田市新屋支所内「あらや衆報」編集係まで。 「あらや衆報」編集係まで。		有限会社  秋田魁新報新屋専売所 秋田市新屋元町13の29 電話(828)4102 フリーダイヤル0120-60-4102	

第21回秋田市夏まつり 雄物川花火大会開催

○日時 平成20年 8 月10日(日)
17時30分よりイベント開催
19時10分より花火打ち揚げ
(雨天等の場合11日に順延)
○場所 雄物川河川敷

地域の皆様と共に...

ISO9001・14001 認証取得



日本大昭和板紙(株)秋田工場

常務取締役工場長 花 潤 健 一

〒010-1601 秋田市向浜二丁目1番1号

第 8 回新屋地区 自主防災訓練の実施

○日時 平成20年11月 2 日(日)
午後 1 時30分(予定)
○場所 西部運動広場

交通安全祈願祭

日時 8 月 1 日(金)
午前 6 時
場所 日吉神社

カーテン・ジュウタン・クロス

鈴木内装

日吉町7-17 TEL 828-5144
鈴木 富 夫

安心サポート

新屋
不動産

〒010-1637 秋田市新屋扇町 7-41
オノブロックス内
TEL 018-888-8844
FAX 018-888-8845

西部公民館祭り

9 月26・27・28日

平成20年度新屋敬老会

☆日時 平成20年 9 月21日(日)
午前11時開催
☆場所 西部体育館

第41回新屋町民大運動会

☆日時 平成20年 9 月14日(日)
午前 9 時開会式
(雨天等の場合 9 月28日(日)に順延)
☆場所 秋田西中学校グラウンド

羽黒山神社参拝と蔵王

昨年の岩木神社参拝の旅に引き続き、今年は羽黒山参拝の旅を計画致しました。
羽黒山神社は、古くより東北の修験道場として全国に知られています。翌日は、蔵王を巡る一泊二日の旅です。どうぞ奮ってご参加下さい。

【日 程】

10月23日(木)
新屋 → 日本海自動車道 → 仁賀保 → 象潟(休) →
7:30 8:40~9:00
羽黒山神社(参拝・昼食) → 新庄 → 御苦楽園 →
12:40~13:40 15:10~
天童 → 天童・ホテル「王将」
16:20~17:00
10月24日(金)
ホテル → 蔵王スカイライン → 蔵王・お釜散策 →
9:00 10:30~11:10
山形 → 天童(昼食・買物) → 雄勝峠 → 雄勝 I C
12:45~13:00
→ 秋田南 I C → 新屋
16:45

旅行代金 ￥35,000
募集人員 30名程度
募集期間 ~ 9 月末日

日吉神社

秋田市新屋日吉町10番67号
TEL 018-828-3033

大島正美 著 「秋田市新屋郷土史」

新屋をもっと知りたい方、勉強したい方は是非

販売・連絡先 鈴木 幸子
TEL828-8686

信頼宣言

印刷・新聞 企画提案
~伝えたいこと、残したいもの~



(018)-888-8000
秋田市新屋馬木町1-41
(西部工業団地)

暮らしの応援団！地元の専門店が一番

《肉の南波・文具は渡金
写真はカドヤ・クリーニングの栗田》

◎日新小 ↑県住

(828) 3121 ☆渡金商店	(828) 3113 ☆カドヤ写真館	◎栗田神社
西部公民館 ◎	☆南波肉店 (828) 4025	
	栗田クリーニング (828) 3636	